

小さな抵抗

新型コロナ対策の自粛生活を続けています。家族から、「お医者さんに無用の負担をかけるな!」と、感染防止を厳命されています。三密を避け、マスク、手洗い、うがいを徹底する。同時に、入浴に時間をかけて免疫を高めるとともに、ジョギングを再開しました。近隣地域の未知の路地や湧き水、野鳥の姿を楽しんでいます(カワセミやカケスを見ることができたりします)。



中嶋哲夫の「人事も歩けば」

同じコースを何度も走ると、道路沿いの住宅のたたずまいや掲示物などが、記憶に残ります。政治家のポスターも、そのひとつ。昔からのムラでは、保守系の政治家のポスターをよく見かけます。関係のある政治家を支援しておられることが明らかです。ポスターを自宅に貼る方の人数は、政党の組織力の象徴なのだと思います。

正月明けに、3人+1人の国会議員が、短縮された営業時間外に銀座にお出かけされた事件がありました。その1人は、筆者のジョギングコースが選挙区。走りながら、ポスターで顔と名前を覚えていた人です。農家の前の空き地に、わざわざ掲示用の支柱を立てて、首相のポスターと当該議員のポスターが貼ってありました。

事件後、見に行くと、ポスターは1枚に減っており、不祥事を起こした議員のポスターが撤去されていました。不祥事



▲1人になってしまった首相……

を起こした議員のポスターを貼る意思はない、ということなのでしょう。その理由を想像すれば、議員が離党をしたので、自動的に取り外した、当該議員に対する支持を取りやめた、世間体を気にした、等の可能性が思い浮かびます。いずれの理由にせよ、当該議員を支える気持ちを失われたことは、確かでしょう。小さな出来事ですが、政党の組織力が少しだけ削られた、と言えそうです。

われわれの職場でも同じ。一つひとつの仕事の目的を丁寧に考え、手を抜かずに努力を続けてくれる社員が多いほど、組織は強靱です。いわゆる「球際に強い」わけですから。一方、仕事の目的を考えることを面倒がる社員の存在は、1枚のポスターが剥がされるのと同じ。「もうひと頑張り」が効かなくなります。すぐには結果は出ないにしても、組織力が削られていきます。職場で静かにポスターを剥がしている社員がいるかいまいかに注意を払う人事でありたいものです。

(MBO 実践支援センター代表)

